

ホシガレイの初期生活史：飼育実験による変態・着底過程の解明

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 堀田, 又治, 有瀧, 真人, 田川, 正朋, 田中, 克
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014525

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ホシガレイの初期生活史：飼育実験による変態・着底過程の解明（総説）

堀田又治・有瀧真人・田川正朋・田中 克

飼育したホシガレイ *Verasper variegatus* の初期発育に伴う形態・生理・行動の変化に関する実験的研究を概説し、ヒラメとの比較により本種の特徴を明らかにした。ホシガレイ仔稚魚の外部形態や行動特性、消化酵素や変態ホルモンの動態は基本的にはヒラメと同様であり、変態期を中心に大きく変化することが認められた。しかし、ヒラメの G ステージは浮遊期であるのに対し、本種の同ステージは浮遊仔魚の性質と着底稚魚の性質を併せ持ち、仔魚は着底状態にあった。ヒラメは着底と同時に摂餌を一時停止して劇的に変態を進行させるのに対し、本種の変態過程は緩やかに進行すると結論づけられた。また、本種はヒラメ仔稚魚より低塩分適応能力が高く、浅海域での着底が示唆された。

栽培技研, 29(1), 59-72, 2001